

令和8年度一般選抜（前期日程） 地理総合・地理探究 標準解答例

〔1〕

問1.

(1) 14時間30分

(2) サマータイムは、日中が長い期間に時刻を1時間進める制度で、緯度の高いヨーロッパなどで採用されている。労働時間数を維持しながら余暇に費やす時間を延ばしたり、エネルギー消費を節約したりできる利点がある一方で、体内リズムが乱れたり時刻に関わるシステムを変更して手間が生じたりする欠点もある。(142字)

問2.

ハブ空港とは、自転車の車輪の主軸に例えて地域内の航空交通の拠点となる空港であり、旅客の乗り継ぎや貨物の積み替えを効率的に行うことができる。(69字)

問3.

A群とフランクフルト空港はシェンゲン協定の締約国にある空港であるため、フランクフルト空港で出国審査は行われないが、B群はシェンゲン協定非締約国の空港であるため出国審査が行われる。(89字)

問4.

従来の飛行経路は2地点間の最短経路である大圏航路に近いものになっていたが、2025年時点の飛行経路はロシアとウクライナ間の戦争の影響を回避するため、ロシア上空を迂回して飛行するものになっているから。(97字)

〔2〕

問1.

季節風の影響により降水量が多く、メコン川などの河川が氾濫原や三角州を形成する平野部では、稲作が盛んである。山間部では、斜面や丘陵地を利用してキャッサバなどの根菜類や陸稲を栽培する焼畑農業が営まれるほか、棚田での稲作がみられる地域もある。(118字)

問2.

- A カンボジア
- B ベトナム
- C インドネシア
- D タイ

問 3.

1980年代から輸出加工区や工業団地を設置したタイやインドネシア、次いで経済開放を行ったベトナムなど、国により工業化の進展には差異が見られる。早くから工業化が進んだ国々では、電気機械工業、自動車工業などが興隆しつつあり、衣類生産などの軽工業の割合は低下した。衣類生産は労働集約的な産業であり、人件費の安い国々に生産拠点が移転する特徴を有するため、現在ではカンボジアやベトナムなどに立地する傾向にある。(198字)

問 4.

ジャカルタでは、他地域からの人口流入や国外資本の流入などにより、経済機能や人口の一極集中が生じている。それに伴い、都心部での交通渋滞や大気汚染、周辺でのスラムの形成が問題となっている。また、地下水の利用が多いため地盤沈下が深刻であり高潮や洪水による浸水被害も生じている。このような問題を解決するために、首都機能を移転する計画が進行している。(170字)